

下越病院節電の取り組み

2015/6/1

5つの基本アクション

照明	①事務室、廊下の照明を半分程度消灯する。(場所ごとに状況に応じた間引き消灯を行う)
	②使用していないエリア、部屋は消灯を徹底する。
空調	③病棟、外来、診療部門(検査、手術室等)、厨房、管理部門毎に適切な温度設定を行う。(夏場は27℃、冬場は20℃を基本設定とする。)
	④使用していないエリア、部屋は空調を停止する。
	⑤カーテン、ブラインドを活用し、日射しを遮る。(冷暖房効率のUP)

メンテナンスや日々の節電努力

節電啓発	⑥節電目標と具体策について、職員全体に周知徹底し、実施する。(部署毎の取り組みを報告しあう)
	⑦医療機関の関係者に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。
照明	⑧病室では日中、外光で支障のない場合、天井照明を消灯する。
空調	⑨調湿空調機、外調機、全熱交換器の活用で冷暖房効率のUPを図る。(外気導入の負荷を軽減する)
	⑩フィルターを定期的に清掃する。
	⑪窓の開けっ放しにしない。(外気の導入、冷気(暖気)の流出を防ぐ)(毎日定時に窓の開閉等について注意する省エネ放送を実施する。)
コンセント動力	⑫調理機器、冷蔵庫は必要最低限の温度設定とする。
	⑬電気式オートクレーブの詰め込み過ぎの防止、定期的な清掃点検を実施する。
	⑭便座温度、温水温度は低めに設定する。 エアタオルは使用しない方向で検討する。(マイハンカチの推奨)
その他	⑮デマンド監視装置を導入し、警報発生時に予め決めておいた照明、空調機を停止する。
	⑯使用していないパソコンやプリンターは電源を切る。
	⑰決められた時間内でコージェネレーション設備をフル稼働する。(排熱有効利用の実施)

※節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものにならないように注意します。